



放課後等デイサービス No.013

COCOON (ココーン) 通信

2018年2,3月号

発行：株式会社

CMDゆうゆう



放課後等デイサービスcocoonでは、2018年3月17、18日、横浜赤レンガ倉庫イベント会場で開催された「みんなあつまれ2017」からお声をかけていただき、テントを「小さなアトリエ cocoon」にしてしまう作戦に挑みました。

アートプログラムでこれまで子どもたちが描いた絵を展示したり、その場で遊びながら作品を創るワークショップをやって楽しんだりしました。子どもたちも様々な立場で楽しんで参加することができました。

いつもの安心で慣れたcocoonと違う場所でも、知らない人たちとだって、いつものcocoonと同じような楽しい場を実現できるという実感…!、青空の下で堂々と自分たちを表現することができた実感…!、スタッフと子どもたち、放課後等デイサービスcocoonのみんなの自信になるといいな～と思います。

知らない人。自分と違う人。最初はみんな、ドキドキする。だんだん、通じ合っていく。みんな、同じなんだ。

考えてても、楽しくない。

今日はそのはじまり。出かけよう。

君がそこにいるだけで、みんなととてもうれしいんだ。

(「みんなあつまれ2017」パンフレットより)

公式HP <http://www.minna-atsumare.jp/>

芽吹く季節に向けて、放課後等デイサービスcocoonでは、子どもたち一人ひとりの挑戦したい気持ちを大切に、一日一日丁寧に、ワクワク楽しい遊びのプログラムを展開してまいります。引き続き、よろしくお願いします!!



遊んで育む
からだ・あたま・こころ



遊んで育む からだ あたま こころ
放課後等デイサービス

 COCOON
ココーン





放課後等デイサービスcocoonで大切にしている「ことば」の力

発達に障がいのある子どもたちへのコミュニケーション支援においては、「ことば」の獲得、「ことば」の機能の理解、またはそれに代わる「スキル」の習得に力が注がれている傾向があります。しかし、放課後等デイサービスcocoonでは、ムーブメント教育・療法の祖 Frostig 博士の論によるコミュニケーション支援の本質を大切に、「ことば」を使う機会があって初めて「ことば」の力は育っていき、とらえています。つまり、自分を「表現したい」とか他者と「かかわりたい」という欲求無しに、ことばだけを取り出して特化した訓練を行うことを目指してはいないのです。子ども一人ひとりが、環境や他者とのかかわりの中で、実際に生きたことばを用いる体験を得て、学びとる機会を重視しています。「ことば」を使いたい、「ことば」の力があると嬉しい…と感じる体験です。

また、ムーブメント教育・療法においては、ことばの機能を「受容言語」と「表出言語」の二面からとらえ、その発達の遅れや偏りの原因を様々な要因から多面的にとらえています。ことばそのものの発語や理解をみるだけでなく、遊びのかかわりの中で確認する視点があり、例えば、「体を使って、大きい、小さいが表現できる」、「足を動かして、いろいろな音が出せる」等の視点は、まさに、体でおしゃべりできる力を見えています。ムーブメントプログラムの活動の中で、動きを通して体験することができる具体的なことばの使用例には、まず、目に見えて確実に表現できることば（身体部位に関することばや遊具の色・形）などがあります。また、比較して理解することば（大きい、小さい、長い、短い）や、方向を表すことば（前、後、左、右、まわりに、あいだに）、時空間の概念の比較によることば（速い、ゆっくり、遅い、高い、低い、すぐに）などもあげられます。そして、動きの基本となることばには、動作そのものを指すことば（歩く、走る、とぶ、乗る）や動きの状態を表すことば（ころころ、ぐるぐる、ぴよんぴよん）などがあり、体験し実行できる動きの発達にともなって、ことばの使用も豊かになります。さらに、遊具の属性の組み合わせや他者との関係性の中で、「赤い三角」や「ボクの手」といった助詞によってことばをつないで表現することや、「〇〇ちゃんが歩く」、「〇〇くんに渡す」、「ユランコに乗る」といった二語文も豊富に活用されていくのです。

ダンスやアートの「表現」の要素を強化したムーブメントプログラムを提供しているのも放課後等デイサービスcocoonの特長です。まさに、「ことば」にならない表現、「ことば」を超える表現から、コミュニケーションの喜びを得る体験を重ねています。それは、ことばの発達を諸機能の総合能力の現れであると捉え、「ことばの前段階」からの経験との関係までも重視しているからです。ことばの学習の土台には、何より、子ども一人ひとりに自分を表現したいという気持ちや他者と自分を結びつけ関係づけようとする意欲があることが大切だと考えているからです。

放課後等デイサービスcocoonでは、ことばの獲得のための支援を、思考力（記憶、心像化）と社会性（人間関係）を育むことと同時にすることを重視しています。例えば、簡単な問題解決の課題を含んだ運動遊びのプログラムは、子どもたちの思考力を高めることができます。他者と力やタイミングを合わせて協力する活動は、思考力と同時に、対人関係や社会性の育成にも役立ちます。自分の考えを実現しようとする意欲や他者への関心を支えることによって、高次認知機能を育みことばの獲得を促します。自分の考えや想いを表現するために、仲間と協力するために、ことばを有効な手段（ツール）であることを子ども自身が体験的に知り、学ぶ意欲につながってくれたら…とあって取り組んでいます。



facebookページに遊びにきてください。



日々の楽しいプログラムの様子、子どもたちの作品、スタッフの気づき等々…。放課後等デイサービスcocoonの楽しい毎日を更新中。ぜひ、のぞいてみてください。



★利用者募集中★

放課後等デイサービス cocoon(コクーン)
〒226-0025
神奈川県横浜市緑区十日市場町863-11
ハーモニータナカ2号室
TEL : 045-530-0641
FAX : 045-530-0642
MAIL : cocoon@cmdyouyou.com

※定員により利用できる曜日に限りが出てきました。ご利用を検討中の方はどうぞ早目にご相談ください。

アクセス

横浜線十日市場駅から、線路沿いに徒歩3分

